

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第8号
令和4年12月9日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー
でご覧いただけます。→



下田を語れる人になる ～ ふるさと学習発表会 ～

「下田にあふれる自然が好き」「下田は不便さを感じる」生徒の思いは様々です。好き・嫌いは個人の気持ちなので仕方ありません。大切なのは、生まれ育った“ふるさと下田”を語ることができるか否かです。下田中の“ふるさと学習”はそこを目指した学習です。

各学年のテーマのもと、興味が湧いたものを調べ、友達と考え意見を交わし、アイデアを練り上げ、発表準備をしてきた半年間。下田の今を見つめ下田の将来を思い描いてきました。2年生のある生徒は学習後に「下田を誇りに思える人になりたい」と感想を述べています。



3年生は三条市からの依頼を受け、“観光客が立ち寄りたくなる下田”を企画してきました。当日は、三条市長をはじめ、市職員の方々等が同席した会場で、グループごとに興味深いプレゼンをしました。

下田の強み、弱み、チャンス、ピンチという4つの要素のうち何と何を掛けあわせるかを考え、独創的なアイデアで、商品開発、イベント企画、ツアーを提案しました。全16グループのうちの数点を紹介します。

	下田の強み	下田の弱み	チャンス	ピンチ	提案内容
B班	山、夜空、静か		自然と触れ合いたい人が多い		Star Night Camp 空から一番近い場所
D班	広い面積、美味しい米	公共交通機関が少ない			下田ウォークラリー
I班		インパクトある土産がない	ガチャガチャの注目度UP		下田ガチャ
M班		下田の食が注目されない	八十里越開通		ミニひこぜん
O班	道の駅がある			クマによる被害が多い	くまジャーキー

16のアイデアの中から、三条市が実現してくれるものが果たしてあるでしょうか？楽しみです。

各学年の発表を聞きに来場された保護者、地域の方々は約120名でした。(全校生徒数195名)生徒のプレゼンはいかがだったでしょうか。来年度の発表会も御期待ください。

来年度へ向けて動き出す ～生徒会役員選挙～

母校を良くするためのリーダーになりたい！この気持ちが立候補という行動につながりました。5人の立候補者が思い描く来年度の下田中学校はそれぞれです。その実現のために、伝統を受け継ぎつつ、新たな挑戦を探っている5人です。どんな学校になっていくのか期待が膨らみます。



立会演説会

投票によって信任を得た5人の新役員は、今後決まってくる専門委員長たちと協力体制を組みます。そして全校生徒との信頼関係を築きながら下田中学校をレベルアップさせてくれるでしょう。



朝の選挙活動



投票

かがやくものを見つけました

生徒が動く音は聞こえるけれど声は聞こえない。これが下田中の清掃時間です。仲間同士で交わす言葉は、清掃作業に関することだけです。おしゃべり禁止というルールはないのですが静かな雰囲気があります。各自が持ち場の清掃を黙々と行っています。教室の床の光沢に目が留まりました。37年間磨き続かれてきた床は、古さとともにいいツヤが出ています。固く絞った雑巾で往復する生徒たちがつくり上げた伝統の床です。大切にしていきたい床です。

